

山行報告

■坊勢島一周散策・かしわの山（１００ｍ）　＜ゆっくりリズム山行＞

●日　　程：６月８日（土）

●参 加 者：Ａ班 Ｌ徳本 ＳＬ春本 臼井 江崎 岡田（淳） 小田 坂本 佐野 敷田 島谷 田中（重）
Ｂ班 Ｌ澤田（律） ＳＬ藤原（千） 橋本（万） 平石 福原 船本 松本 三木（知） 村上
森下 安田 矢根

●行動記録：Ａ班 奈座港 ９：５０ 発～弁天神社（９：５５ 着）１０：００ 発～海水浴場（１０：１０ 着）～みかん園
入口（１０：２０ 着）～展望台（１０：５０ 着）１１：１０ 発～中学校（１２：０５ 着）１２：１０ 発～浪
切不動尊（１２：４０ 着）１２：４５ 発～奈座港（１３：００ 着）

Ｂ班 奈座港 ９：５５ 発～海美酒神社（１０：０５ 着）１０：１０ 発～浪切不動尊（１０：２５ 着）１０：３０
発～中学校（１１：０５ 着）１１：１０ 発～展望台（１２：０５ 着）１２：２０ 発～みかん園入口
（１２：３０ 着）～海水浴場（１２：４０ 着）１２：４５ 発～弁天神社（１２：５５ 着）～奈座港
（１３：００ 着）

◆坊勢島を一周して

岡田（淳）

晴天の姫路港 ９ 時発の旅客船で ２０ km ほど離れた坊勢島に向けてワクワクしながら出港。採
石で山肌を大きく削り取られた男鹿島の姿を横目に、３０分ほどで坊勢島の奈座港に到着した。

二つの班に分かれて逆回りに出発。反時計回りの私たちＡ班は、朱塗りの橋が美しい弁天島
海神社へ。漁師の父の身代わりに海に身を投じた娘の言い伝えが残る神社だ。

西島を右手に進み、今はひと気の無い坊勢海浜公園（海水浴場）からは海を背に舗装道を上
っていく。途中、全く見えないみかん園が気になって軽トラの後を追って山道へ。軽トラのお
じさんにみかん園のことや海に続く道のことを教えて貰った。海が開けた所で写真をと振り返
るとなんと山側の崖の上からロープが…、ここでロープワークの練習をしている人がいるの？

道標を目印に山道と階段を上りかしわの山展望台に到着。島で一番高い山の上からは、ぐる
りと瀬戸内海の景色が見渡せる。西の小豆島、東の明石海峡大橋、そしてはるか南の大鳴門橋
もかすかに見えすばらしい眺望を満喫した。男鹿島は、なんと船から見た反対側も見事に削り
取られていた。

再び舗装道を進むと、路傍の可
憐な花々に話が弾む。コバンソウ
はその色と形に「気持ち悪い」、逆
に「かわいい」と感じ方が違って面
白い。萩に似た花も小さな黄色い
花も何の花なのか。帰って調べ
ると、コマツナギとナルトサワギク
か？ 確信は持てないが…。



島の東側の漁港は多くの漁船がズラッと並び、栈橋の長さは全国第2位だとか！この辺りから単車に何度も遭遇、どれもかなりのスピードで坂道もカーブも通過していく。坂が多く道幅の狭い島の人たちには欠かせない交通手段だ。船着き場の横に大量の単車があったのも頷ける。この辺りでB班とすれ違い昼食の確認。

この辺りには海苔の加工場が多く海苔網を洗うタンクが並んでいる。坊勢島で海苔の養殖が盛んだとは知らなかった。坊勢中学校で約2億年前の波の化石を見て感動。島の北端の海に面した波切不動尊は大量のお酒が供えられ、地元の人たちの厚い信仰がうかがえた。

島の北端を回り恵美酒神社を残して昼食予定時刻が迫りお店へ向かう。美味しい海鮮丼等々を頂き大満足。最後のアスファルト道でかなり脚の疲れを感じたのは私だけではなかったようだ。この時点で約16000歩！恵美酒神社は遠くから手を合わせることに。

帰りの船は前半かなりの揺れで少し緊張したがこれもまた良い思い出だ。坊勢海苔の佃煮と味付け海苔も購入し、一日を通して通常の山行とはひと味違う楽しい一日を過ごせた。

リーダーには事前の下見・下調べから前日までの準備、当日のチケットの購入等きめ細かにお世話頂きありがとうございました。

◆坊勢島

三木(知)

自宅から自転車で10分、フェリー乗り場に到着。船に乗るといってどこか遠くに行くように感じますが、神戸に行くより近いです。これまで家島諸島は一度も訪れたことがありませんでしたが、会報の行事予定で見た時は、やっといけるかもと小躍りしました。

梅雨が近いせいか少しどんよりとした空模様です。あっという間に奈座港に到着。ストレッチの後、B班は東回りのコースをスタート。港には、バイクがたくさん停車していました。山が海岸に迫り、平地が少ないため道路も狭く、急斜面せまるように家が立ち並んでいます。バイク、軽四、コミュニティバス、立ち止まる事も度々でした。停泊中の漁船を見ながら恵美酒神社に到着。秋祭りの時は大変賑やかならしいです。西島方面の青い屋根の建物は坊勢鯖の養殖施設だとか。今回、坊勢に通勤されているFさんにいろいろと地元の話をしていただき勉強にもなり楽しかったです。

浪切不動尊には、戸が閉まっております外からお参りしましたが後で戸を開けるとの事を聞きました。知らなかったなあ。

坊勢中学の校門にある2億年前の波の跡の化石を見て、ふるさと林道オカズラ線を歩きました。



12時10分、展望台に到着。少し曇ってはいましたが、家島諸島や瀬戸内海に浮かぶ島々を見渡すことができました。

赤い欄干の弁天島が見えたら、ゴールはすぐそこです。

足取りも軽く天晴水産で島グルメを楽しみました。

帰りのフェリーは途中揺れて、船に弱い私はどうなることやらと心配でしたが、無事に姫路港に着きました。

お世話して頂いたリーダー、同行の皆様ありがとうございました。

■高妻山（たかつまやま 2353m）長野市～戸隠の最高峰

●日 程：6月9日(日)～11日(火)

●参加者：L 島谷 SL 徳本 笹木 松田 村上

●行動記録

(10日)：樅の木山荘(13:00 着)13:10 発～奥社参道入口(13:30 着)～奥社随神門(14:10 着)～鏡池・どんぐりハウス(15:50 着)15:55 発～樅の木山荘(16:55 着)

(11日)：山荘 4:45 発―戸隠キャンプ場(4:50 着)5:05 発～不動避難小屋(7:20 着)7:35 発～五地藏山(8:45 着)8:50 発～六弥勒分岐(8:55 着)9:05 発～高妻山(11:45 着)12:10 発～六弥勒分岐 14:15 着～牧柵(16:20 着)～戸隠キャンプ場(16:30 着)16:45 発―山荘(16:50 着)

(12日)：山荘 8:20 発―中社㊤(8:35 着)―奥社参道入口㊤8:40 着～随神門(9:00 着)～奥社(9:30 着)9:35 発～参道入口(10:25 着)～中社(11:10 着)～中社㊤(11:15 着)

◆百名山の高妻山（2353m）をメンバーと登る

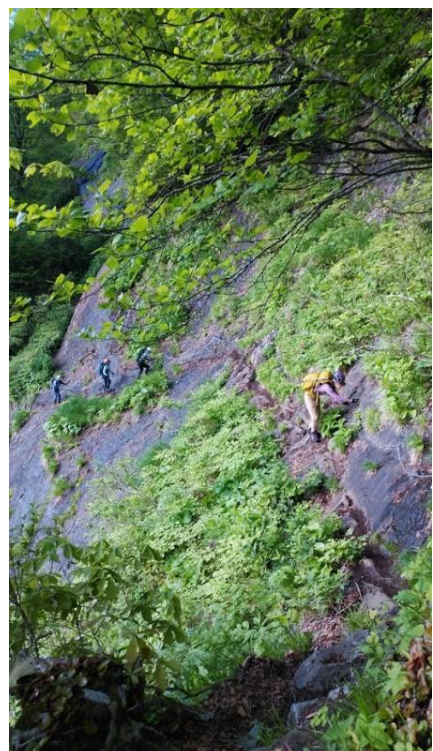
松田

《一日目》雨天予報のため、1日延期での実施となった。

姫路駅 6時 21 分発新幹線→特急しなの→バスを乗り継いで、戸隠中社まで行く。荷物を宿に置いて戸隠散策をする。戸隠神社の随神門から鏡池まで散策する。熊出没の立て看板にビックリしながらも、手を叩いたりおしゃべりをして警戒をしながら歩く。鏡池ではモヤがかかっていたが、周りの山々が写っていて、とても綺麗かった。写っている山の一つ高妻山に明日登ると思うとドキドキした。夜に宿の主人から登山についての注意事項を聞く「景色を見る時は止まってから見る」「下りる時は靴の紐を結び直す」「花が綺麗だから楽しんできて欲しい」等々。明日に向けて早く寝ようとしたが、なかなか寝つけなかった。

《二日目》良い天気恵まれ登山日和！！

日程の変更をしてよかった！キャンプ場まで車で宿の主人に送ってもらう。高妻山は戸隠富士と呼ばれている三角の綺麗な山。さあ、いまからいくぞ、待ってろよ！！戸隠牧場を通り抜け山麓へと、樹林帯に入っていく。少しいくと大洞沢である。滑らないように、気をつけて水の中を歩く。尾根がせまってくると、沢の分岐があり、鎖場になっている。3点確保で通過する。鎖にしがみつかないで、両手でしっかりと鎖を握り両手を伸ばして体を支え、岩に対して直角に近くなるように岩から体を離して立ち足で登ると教えてもらったようにする。この鎖を通過すると最難関の帯岩を通る。一人ずつ通っていく。岩から体を離しながら通る。水の流れる小岩のガラガラを登ると『氷清水』があり、喉の渇きを潤した。冷たくておいしかった。それから不動（避難小屋がある）→二釈迦→三文珠→四普賢と稜線歩きになる。一生懸命登っているのに、高妻山が遠くになっていく感じがする。先輩方が、休憩の時「あの山は黒姫山」「飯縄山





（いいづなやま）」と言われているが、どれがそうなのかわからない。足元を見て歩くだけで精一杯の私です。ほぼ目の高さの位置に見えているということは、それだけ高地を歩いているのだと思った。下から見た時の高妻山はすぐ近くで登りやすそうだったのに、小高い山を三つ登り下りを繰り返さなければ到達出来ないと、登って初めてわかった。五地藏山（1998m）、ここからは高さを増してくる。六弥勒→七薬師→八観音→九勢至→十阿弥陀、それぞれに、きちんと石祠があり、祀

られている。信仰登山の名残りが感じられ、この山に来て良かったと思うと同時に、次の祠にくとホッとした。手を合わせて登山の安全と、早く着きますようにと願う。やっと十阿弥陀まで来たからここが頂上かと思っていたら、後 30 分ゴロゴロした岩の先だと聞く。ちょっとガッカリしたが、もう少しと頑張る。「やった！！頂上だ！！」遮ぎるものは何もない。疲れの為か、思ったより感激が少ない。頂上で食べたお昼は最高でした！でも少しすると、登った達成感より今から下りていく道のりを考え、気を引き締めました。ちゃんと下りる力を残しているかと心配するが、大丈夫と思いたい。

さあ、今から下山！でも、登って下りて登って下りてを繰り返す。だんだんときつくなってくる。五地藏山まで下る。ここまでは登って来たところなので様子がわかる。ここからは、靴の紐を締め直し、往路と別ルート of 弥勒尾根を下りていく。「ぬかるみが多い土の道が続くので滑らないように」と言われていたのに、滑ってしまった。お尻を汚す程度で済んだが、気を引き締めようと自分に言い聞かせた。歩いている横は切り立った崖が続く。こんな尾根に大きな木が生えていてビックリしたり、時間も気になったり、着地の時に膝が痛くなったりして、だんだん無口になっている私でした。『後 30 分』の看板に元気をもらい頑張って歩きました。沢に出たらもう牧場という言葉聞いてまた、頑張って歩きました。あっ、牧場が見えてきた！11 時間 30 分、やっとついた！嬉しかったなー。迎えの宿の主人の車を待つ間、待ち合わせ場所に座り込んでいました。

《三日目》戸隠神社の奥社・九頭龍社・中社散策。

昨日、あまりにも疲れて、夕ご飯を食べられなかったり、膝の痛みから歩けなかったりして、3 日目の予定をキャンセルにして早く帰る案も出ていたけど、朝になると皆さん元気で、朝食もしっかり食べて全員、予定通り散策しました。一日目に来た戸隠神社の随神門を入ると、樹齢 400 年の杉並木の道、木の下にはかわいい花が咲いて私達を癒してくれました。杉並木が終わると石段が続きました。九頭龍社、奥社に参拝しました。その後元気に帰路についた。

私達が登る何日か前に男性が転落したと聞いた事が気になり、戸隠まで来たけれど、私が登れなかったらみんなに迷惑をかける事になると思うと不安でした。それをリーダーやメンバーに伝えと、リーダーの思いやメンバーの励ましをもらい、申し込んだ時の登ってみたいという気持ちになりました。この時、一緒に山行するメンバーの大切さを知りました。私に「この一歩が頂上につながる」と教えてくださったメンバー・私は山行に必死なのに余裕で花を見つけて私にも花の名前をいっぱい教えてくださったメンバー・疲れていても明るく笑顔を絶えさせないメンバー・挫けそうになるメンバーにそのメンバーに合わせたやる気を起こさせるリー



ダー・素晴らしいメンバーでした。一緒に歩いて感謝します。そして山行が終わった時はもう膝が痛くて痛くて歩けないと思っていたのに、一晩寝ると歩けるまで回復したこの私の体の凄さを初めて知り、親に感謝しました。山行前のトレーニングに付き合ってくれたり、応援をしてくれた山行の仲間達ありがとう感謝してます。この経験は一生の宝です。これからも今回の反省をもとに色々な山に挑戦したいと思いました。今回は11時間30分の山行をやり切る事だけでしたが、他のメンバーのように、今度は花の名前を言って楽しんだり、周りの山々の名前を覚えたり、小鳥の囀りに心躍らせる様に余裕を持って登りたいと思いました。それから、山は花の綺麗な時がいいなと思う。こんなに色々な種類のたくさんの花を見たのは初めてだったので、。

☆リーダーから 反省会にて☆

「天候不良予報のため実施日をずらし、参加が叶わなかったメンバーがあり残念。」「きびしい歩きはもうおしまいかも？よく頑張った。」「ゆっくりペースでよかった」「山頂で涙が出そうだった」。そろって登頂・下山でき感無量です。

☆山荘主人からの有効な虫対策紹介☆

鎮痛消炎の貼り薬（○ロン○ス等）を、帽子のヘリの内側（おでこの前のヘリ）や服の胸辺りに貼る。ご主人が5人全員に持たせてくださり、虫よけに非常に有効でした。お勧めです。

■六甲ロックガーデン

＜初めての山歩き教室実技Ⅳ＞

●日 程：6月16日（日）

●参加者：[サポート] L森本 SL木村 一瀬 尾越 小田 小野 黒本 春本 藤本 松本 安田
[教室] L砂川(延) SL西脇 坂本 高井 團野 船本

●行動記録：阪急芦屋川駅9：00 発～公園（9：10 着・ストレッチ）9：20 発～高座の滝9：45 発～風吹岩（10：55 着）11：00 発～雨が峠（12：05 着・昼食）12：35 発～東お多福山13：00 発～土樋割峠（13：10 着）13：30 発～一軒茶屋（14：30 着）14：55 発～石の宝殿15：10 着～土樋割峠（15：50 着）15：55 発～東お多福山登山口バス停（16：20 着）17：07 発～阪急芦屋川駅（17：20 着）

◆～念願の六甲山～

團野

地元の山なのに、一度も登ったことがなく、前々から登ってみたいと思っていた六甲山。どんな山なんだろうとワクワクする気持ちと、標高931mという高さに心配な気持ちとで、数日前からドキドキしていた。当日はお天気が心配されていたが、曇のち晴れで、やや蒸し暑い日となった。阪急芦屋川駅は、装いさまざまなハイカーで予想以上に賑わっており、さすが六甲山！と驚いた。駅を出発し高級車ばかり停まっている住宅街を進むが、急な坂道が続き、登山道に到着する前に首に巻いていたタオルが汗でぐっしょり湿っていた。

高座の滝に到着すると、流れる水の音が涼しげで、しばし暑さを忘れることができた。ロッ

クガーデンは、まさに名前の通り見事な岩場で、高御位山の岩場を登るのともまた違った楽しさがあった。風吹岩（447m）では、阪神間の街並みと、大阪湾の景色が見渡せ、切り立つ岩肌から立派な松が生えており、うねる様な幹の形からも自然の力強さを感じた。

東お多福山では、樹林帯をぬけてさわやかな草原が広がり、今回の山行では、湿地や沢など、景色がコロコロと変わり楽しんで歩くことができた。ピンクのササユリ、コアジサイなどの植物や、ホトトギス、シジュウカラなどの野鳥の声にも癒された。

道中、砂利道で滑ってしまったり、歩き慣れない山の怖さを感じることもあったが、パーティーの皆さんからの声かけや、一人ではないという安心感があり、何とか登り切ることができた。サポーターの皆さん、教室生の皆さん、ありがとうございました。



■氷ノ山

＜初めての山歩き教室終了山行＞

●日 程：6月29日(土)～30日(日)

●参加者：L 砂川(延) SL 西脇 一瀬 植田 坂本 團野 春本 船本 松本

●行動記録：大段ケ平登山口 12:30 発～大屋町避難小屋 12:40 発～神戸大学氷ノ山ヒュッテ
14:05 発～氷ノ山 14:45 発～神戸大学氷ノ山ヒュッテ(15:35 着) 15:40 発～大段ケ平登山口(16:20 着) 16:35 発～民宿やねや(17:10 着)

◆初めての山歩き教室 終了山行……の天気！

植田

数日前から天気は気になっておりましたが、一日目は晴れてよかった。

マイクロバスで全員揃っての出発が遅れた影響で、ルートの変更になりました。

お昼過ぎに大段ケ平駐車場に到着後、昼食を済ませました。

氷ノ山の大大段ケ平登山口からは最もやさしいルートらしいです。歩きやすく、ブナの森がとても感じよいコースです。大屋町避難小屋、神大ヒュッテで小休止。



ネマガリタケ藪の中を進み、千年杉木道にもいろんな植生もある中を進んで行くと、山頂小屋が遠くに見えてきて少しホットする。霧が少し出てきていて、無風に近い状態なので余計に蒸し暑く感じられた。山頂の景色は期待できないのかと思いつつ、足元…頂上に近づくほどコースが悪く…気を付けながら登って行くこととなりました。

そして、氷ノ山山頂に着きましたが、辺り一面真っ白な状態。休憩の後、写真撮影。時間が経つにつれて、徐々に麓から山頂にかけて霧が風によってスーッとなくなり、部分的によく見えるようになって気持ちよかったです。

復路は足取りも軽かった。…登りが少し重く感じたのは、登る直前の食事の影響？

宿に着いてからのお風呂が気持ちよく、疲れも取れて心も体もスッキリ！

楽しみにしていた食事は鍋…。飲んで食べて喋って…楽しい夜になりました。

一夜明けて…朝から雨でした。ゆっくり出発して、鉢伏山の車中見学になりました。

そして道の駅まで走り、休憩…買い物。もう一ヶ所…時間調整休憩して、和田山の蕎麦店でそばを頂いて帰路に就きました。

サポートの方々、同行の皆様 有難うございました。

◆「初めての山歩き教室」受講と氷ノ山への終了山行

坂本

2022年2月の例会の日に高御位山遊会に入会。それから2年5ヶ月間よく山行に参加して、色々な山に連れて行ってもらい楽しい時間を過ごしましたが、「初めての山歩き教室」を受講していないことをずっと残念に思っていました。今年は善防公民館で開催されるとのことであったので、すぐ参加を決めました。

座学ではザックの選び方やコンパスの使い方、事故やアクシデントの対処方法など色々と教えていただき、とても役立ちよい勉強になったと思っています。また実技では高御位山、鎌倉山、笠松山、六甲ロックガーデンに登りました。

そして、6月29日終了山行の日を迎え、9時にマイクロバスで善防公民館を出発、志方、加古川、高砂、伊保に立ち寄り、9名全員が揃い播但道をひたすら北へと走りました。

梅雨の時期で2日目が雨の天気予報であり、急遽1日目に氷ノ山に登ることになりました。大段ケ平（おおだんがなる）登山口で、遅めの昼食をとり、ここからは氷ノ山まで一番短いコースですが、足元がぬかるんでいて結構時間がかかりました。時折景色は開けてよく見えたり、ガスに覆われていたりを繰り返し、ブナ林やナナカマドを見て登って、やっと頂上の赤い小屋が近くに見えた時はもうすぐなのだろうれしく顔もほころびました。

頂上へ着くと今までかすんでいた景色が少し晴れてまわりの山々が見渡せ、涼しく心地よい風が吹いており、兵庫県で一番高い山に登れたことに感動、皆さんと喜び合いました。写真を撮ってもらったりして、もと来た道を下山することになりました。民宿やねやさんに17時ごろ到着、皆さんと山行を語りながら鉢伏鍋とビールで乾杯しました。



翌日は朝から雨で、鉢伏山には登らないことになり、朝はゆっくりしてやねやさんを出発、鉢伏山の登山口まで車で行き登山口を見ただけでした。その後は道の駅へ寄ったり、立雲峡から竹田城跡を眺めながら蕎麦を食べたりと、楽しい時間を過ごしました。

この度の終了山行では、雨具を着ることもなく、熊にも出くわさず、全員無事に氷ノ山に登れてとても良かったです。これからも出来るだけ長く山登りを続けたいと思っています。砂川会長、西脇さん、運転して下さった春本さん、ご一緒させてもらった皆さん、お世話になりました。

◆「初めての山歩き教室」に参加して

船本

初心者の私にとって、「どんな服装をすればよいか」「どんなものを持っていくか」など、基本的なことを座学できちんと教えてくださり、とてもありがたかったです。また、ザックなどの装備はどんなものがあるかを詳しく説明してくださり、時には実物を見せてもらうことで、自分が買う時の参考になりました。そして実技では、計画書や装備表を準備してくださり、会長や先輩方がアドバイスしてくださり、安心して歩くことができました。

何と言っても、一緒に参加した同期の方や先輩方と山に登ることで、登山の楽しさを味わわせてもらったことが一番の思い出です。特に3回目の実技である六甲山は、私にとっては途中で昼食をとるのも1000mを超える山も初めてでした。事前に30Lザック、ヘッドライトを新たに購入し、みんなについていけるかドキドキしながらの参加でした。でも、みんなでサユリを見て楽しんだり、冷たいゼリーをいただいたり、冷たい川の水で顔を洗ったりすることで、最後まで歩くことができました。それに、みなさんとおしゃべりすることで元気がもらえました。座学で教えてもらった「YAMAP」をダウンロードして参加したのも初めてでした。活動終了ボタンを押すと『おつかれ山!』と表示され、(ダジャレかよ!)と脱力した笑みがフッとこぼれました。すごく疲れましたが、いい経験になり、ちょっと自信ができました。

終了山行では、大段ヶ平から氷ノ山山頂を目指しました。会長がゆっくり歩いてくださり、



なだらかな山道だったので、あっという間に山頂に着いたように感じました。ここが兵庫県最高峰かと思うと感慨深いものがありました。みんなと一緒にだったから、ひとりでは気づけなかった花のこと、霧が出たときの雰囲気の良い、雨上がりの匂いなどをいろいろと知ることができました。ヒグラシ(?)のような鳴き声が聞こえたときは、みんなで「何だろうね~?」と言いながら奥深い森のいい雰囲気を感じました。

した。民宿「やねや」の女将さんはとても親切で、ご飯もおいしかったです。ビールがすすみ、楽しく語らい、素敵な一日を過ごせました。次の日は、雨のため残念ながら登山は断念しましたが、おいしいおそばを食べ、道の駅でお土産を買い、これはこれで楽しい帰路となりました。素敵な仲間と知り合うことができ、より一層楽しく学べました。感謝です。

『初めての山歩き教室』は終了しますが、氷ノ山・鉢伏山には、また、ぜひチャレンジしたいです!そして少しずつ山行に参加して、もっといろいろな山を知りたいです。会長、西脇さんをはじめ計画や準備をしてくださったみなさん、講師をしてくださった方々、お世話になりました。ありがとうございました。同期のみなさん、これからはよろしくお願ひします。山行などで一緒にできるのを楽しみにしています。

◆山へ行こう、晴れたらいいね♪ 氷ノ山

一瀬

今年の教室生の終了山行に同行させてもらった。

去年は教室生として参加したが二日も雨の中カッパを着ての山行となり頂上まで登れましたが景色はほとんど楽しめなかった。

なのでもう一度氷ノ山に行ってみたい。。

梅雨の時期の晴れの山行は難しいです。

一日目、梅雨の合間の晴れ！氷ノ山に向う車から見える山々の景色がとても明るい。

高速道路をおり9号線から林道へと進む。ずいぶん車で登ってようやく大段ケ平に到着した。

お天気がいいから他に先着が予想以上にいた。いい場所ってどこからか人が集まるんですね。

去年は同じ場所でカエルの合唱しかきこえなかった。今日は鳥、虫、カエルの3部構成です。

楽しいハーモニーが聞こえてくる

大きくて広い自然の中で子供の時の夏休みに感じたような開放感を感じた。

みなでお昼ご飯を食べてからのぼります。

会長を先頭にゆっくりリズムですすんでいく。そういえば去年は同じコースを水たまりをさけながらドロドロの地面をチャブチャブ登ったなあ。。

足元ばかりに気をとられ景色をみる余裕がなかった。。と思い出しながら今日は2回目、せっかく来たのだから見える景色を味わっていこう！という思いがあった。

チシマザザ、スズコ、ブナ、

避難小屋の中も見ることができたし、満足！満足！

何メートルのぼったところから雲の上？見晴らしがかわったな？

おもしろいな。「ジャックと豆の木」物語だけど雲の上、想像できるなあ。。

やっぱり晴れたらいいね♪

今年もやねやさんでお世話になりました。おなべの夕食、皆で楽しいおいしくいただきました。

二日目は残念ながら雨のため山行中止となりましたが道の駅に寄りながら、竹田城が見えるそばやお昼ご飯です。

癒やしの空間で美味しいおそばのひととき、竹田城を初めて見ることができ感動しました。

また機会があれば次は東尾根登山口から登ってみたいです。

砂川さん、運転してくださった春本さん、一緒にくださった皆さんありがとうございました。

